

観光地域づくりに関する住民意識調査 報告書

令和 7 年 3 月

一般社団法人東紀州地域振興公社

目次

1	調査概要	2
2	調査結果の概要	3
3	設問別調査結果	12

凡例

SA…Single Answer	単一回答
MA…Multiple Answer	複数回答
LA…Limited Answer	回答数の制限付き複数回答

1 調査概要

(1) 調査目的

東紀州地域にお住まいの方々の観光地域づくりに対する意識などを把握し、今後の観光施策に活かすため。

(2) 調査方法

東紀州地域 5 市町の広報誌 12 月号への当アンケート二次元コード掲載等により実施。

(3) 調査機関

令和 6 年 12 月 1 日（日）から 12 月 31 日（火）まで

(4) 有効回収数

170 件（令和 5 年度：77 件）

(5) 調査項目

- 属性（性別・年齢・お住まい）
- 東紀州地域は魅力的な観光地であると思うか
- 観光客と接する機会はあるか
- 東紀州地域を訪れる観光客に対する印象【日本人観光客・外国人観光客】
- 東紀州地域の観光地域づくりに対する印象
- 東紀州地域の観光地域づくりの位置付け
- 観光地域づくりに関わりたいと思うか
- 東紀州地域の観光地域づくりに対して、今後どのような効果・課題があると思うか
- 観光地域づくりに対する意見

(7) 分析の視点

分析にあたっては、属性、来訪頻度や目的等でクロス集計を行うことで、東紀州地域来訪者の傾向や満足度等を把握した。また、「観光施設等利用者調査」（令和 5 年度）との比較を実施した。

(8) 調査結果の表示方法

- 比率は、原則として各設問のサンプル数に対する百分率を表示。
- 比率はすべて百分率で表し、小数点第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100% にならない場合がある。
- 複数回答の質問の比率は、回答数の合計をサンプル数で割った比率となっており、比率の合計は通常 100% を超える。

(9) 調査主体

一般社団法人 東紀州地域振興公社

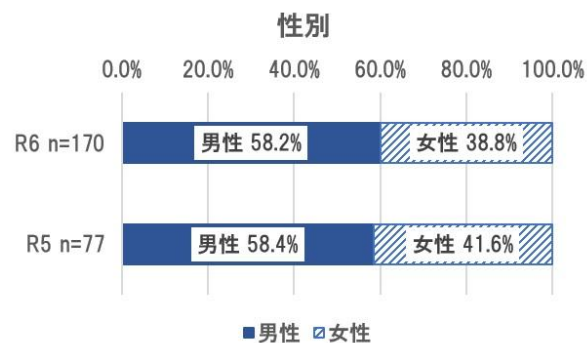
2 調査結果の概要

(1) 属性

- ・回答した方の年齢の割合は、「50 歳代」30.0%で最も多く、次に「20 歳代」「30 歳代」が共に18.2%であった。〈図表2〉
- ・居住地の割合は、「熊野市」が39.5%で最も多く、続いて「尾鷲市」が27.1%、「紀北町」が15.3%であった。〈図表3〉

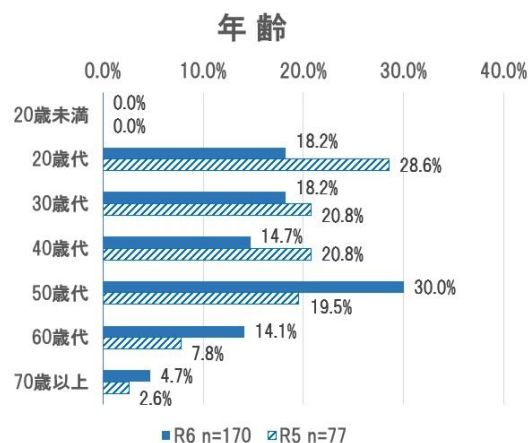
性別【SA】〈図表1〉

	R6	割合	R5	割合	R5からの増減
全体	170	100.0%	77	100.0%	-
男性	99	58.2%	45	58.4%	-0.2
女性	66	38.8%	32	41.6%	-2.7
その他	4	2.4%	0	0.0%	2.4
無回答	1	0.6%	0	0.0%	0.6



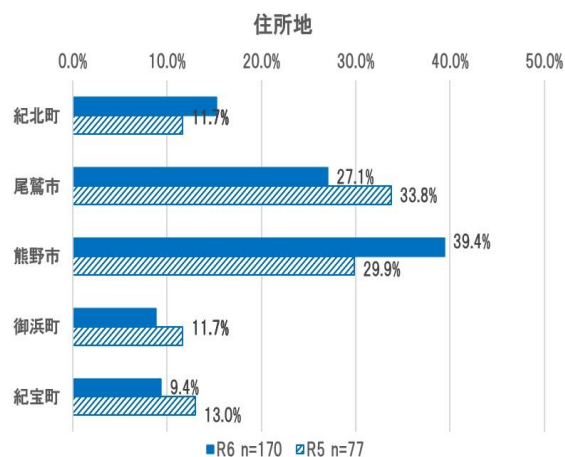
年齢【SA】〈図表2〉

	R6	割合	R5	割合	R5からの増減
全体	170	100.0%	77	100.0%	-
20歳未満	-	-	-	-	-
20歳代	31	18.2%	22	28.6%	-10.3
30歳代	31	18.2%	16	20.8%	-2.5
40歳代	25	14.7%	16	20.8%	-6.1
50歳代	51	30.0%	15	19.5%	10.5
60歳代	24	14.1%	6	7.8%	6.3
70歳以上	8	4.7%	2	2.6%	2.1



居住地【SA】〈図表3〉

	R6	割合	R5	割合	R5からの増減
全体	170	100.0%	77	100.0%	-
紀北町	26	15.3%	9	11.7%	3.6
尾鷲市	46	27.1%	26	33.8%	-6.7
熊野市	67	39.4%	23	29.9%	9.5
御浜町	15	8.8%	9	11.7%	-2.9
紀宝町	16	9.4%	10	13.0%	-3.6

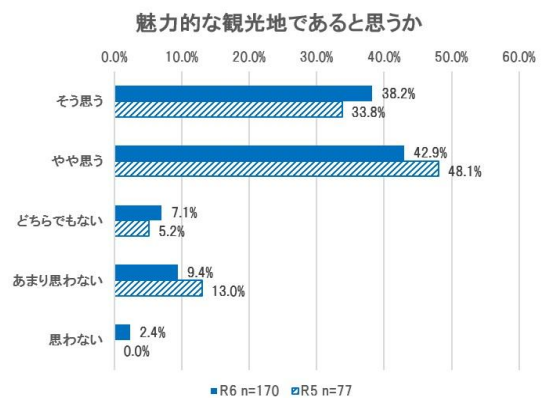


（２）東紀州地域は魅力的な観光地であるか ／ 東紀州地域を訪れる観光客と接する機会はあるか

- ・東紀州地域は魅力的な観光地であるかについては、「そう思う」「やや思う」といったポジティブな回答が 81.1%、「あまり思わない」「思わない」といったネガティブな回答が 11.8%であった。〈図表 4〉
- ・観光客と接する機会については、「仕事の一環で接する機会がある」「生活の中で接する機会がある」の回答が 44.2%で、昨年度より 9.1 ポイント減少した。〈図表 5〉
- ・魅力的な観光地であると思うかとの問いに対して「仕事の一環で接する機会がある」「生活の中で接する機会がある」方は、「接する機会はほとんどない」方に比べて「そう思う」と回答した割合が高い。〈図表 6〉

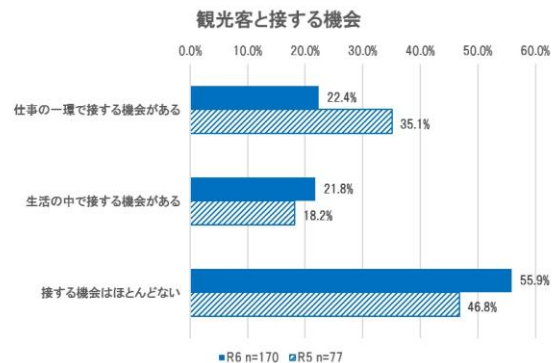
魅力的な観光地であると思うか【SA】 〈図表 4〉

	R6	割合	R5	割合	R5からの増減
全体	170	100.0%	77	100.0%	-
そう思う	65	38.2%	26	33.8%	4.5
やや思う	73	42.9%	37	48.1%	-5.1
どちらでもない	12	7.1%	4	5.2%	1.9
あまり思わない	16	9.4%	10	13.0%	-3.6
思わない	4	2.4%	0	0.0%	2.4



観光客と接する機会【SA】 〈図表 5〉

	R6	割合	R5	割合	R5からの増減
全体	170	100.0%	77	100.0%	-
仕事の一環で接する機会がある	38	22.4%	27	35.1%	-12.7
生活の中で接する機会がある	37	21.8%	14	18.2%	3.6
接する機会はほとんどない	95	55.9%	36	46.8%	9.1



魅力的な観光地であると思うか【SA】 × 観光客と接する機会【SA】 〈図表 6〉

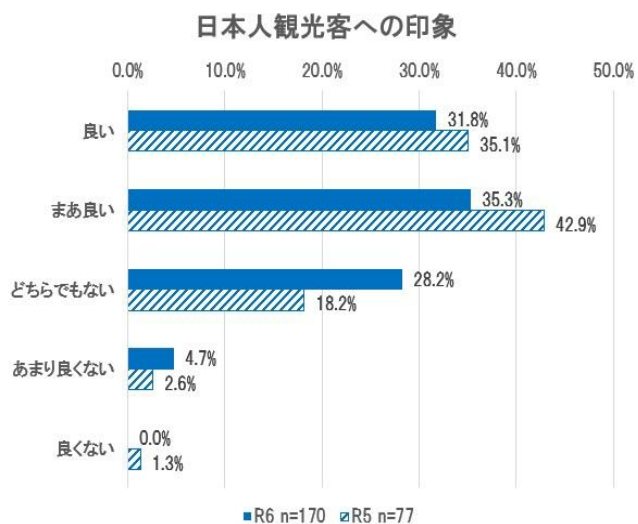
			魅力的な観光地であると思うか					
			全体	そう思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない
観光客と接する機会	令和6年度	全体	170	65	73	12	16	4
			100.0%	38.2%	42.9%	7.1%	9.4%	2.4%
		仕事の一環で接する機会がある	38	14	17	2	4	1
			100.0%	36.8%	44.7%	5.3%	10.5%	2.6%
		生活の中で接する機会がある	37	24	9	2	2	-
			100.0%	64.9%	24.3%	5.4%	5.4%	-
	令和5年度	接する機会はほとんどない	95	27	47	8	10	3
			100.0%	28.4%	49.5%	8.4%	10.5%	3.2%
		全体	77	26	37	4	10	-
			100.0%	33.8%	48.1%	5.2%	13.0%	-
		仕事の一環で接する機会がある	27	11	13	1	2	-
			100.0%	40.7%	48.1%	3.7%	7.4%	-
	令和5年度	生活の中で接する機会がある	14	5	5	1	3	-
			100.0%	35.7%	35.7%	7.1%	21.4%	-
		接する機会はほとんどない	36	10	19	2	5	-
			100.0%	27.8%	52.8%	5.6%	13.9%	-

（３）東紀州地域を訪れている観光客（国内外それぞれ）に対しての印象

- ・日本人観光客への印象は、「良い」「まあ良い」のポジティブな回答が 66.1%で昨年度と比べ 10.9 ㊦減少している。〈図表 7〉
- ・外国人観光客への印象は、「良い」「まあ良い」の回答は 60.6%で昨年度とほぼ同じであるが、「良くない」「あまり良くない」のネガティブな回答は 7.4 ㊦減少している。〈図表 8〉

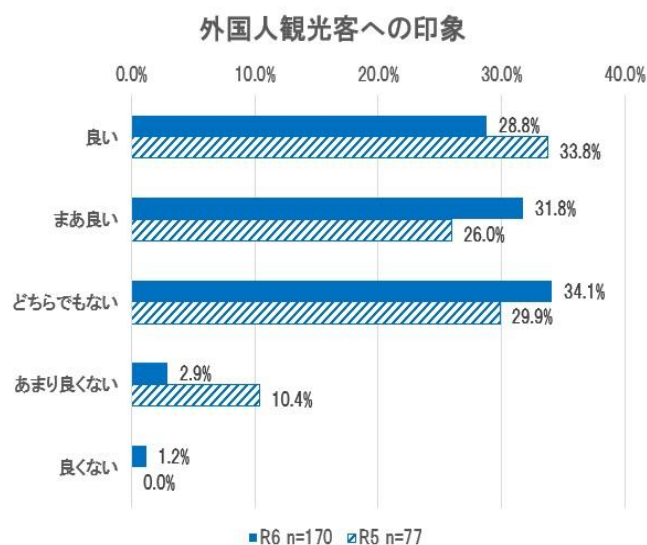
日本人観光客への印象【SA】〈図表 7〉

	R6	割合	R5	割合	R5からの増減
全体	170	100.0%	77	100.0%	-
良い	54	31.8%	27	35.1%	-3.3
まあ良い	60	35.3%	33	42.9%	-7.6
どちらでもない	48	28.2%	14	18.2%	10.1
あまり良くない	8	4.7%	2	2.6%	2.1
良くない	-	-	1	1.3%	-1.3



外国人観光客への印象【SA】〈図表 8〉

	R6	割合	R5	割合	R5からの増減
全体	170	100.0%	77	100.0%	-
良い	49	28.8%	26	33.8%	-4.9
まあ良い	54	31.8%	20	26.0%	5.8
どちらでもない	58	34.1%	23	29.9%	4.2
あまり良くない	5	2.9%	8	10.4%	-7.4
良くない	2	1.2%	-	-	-

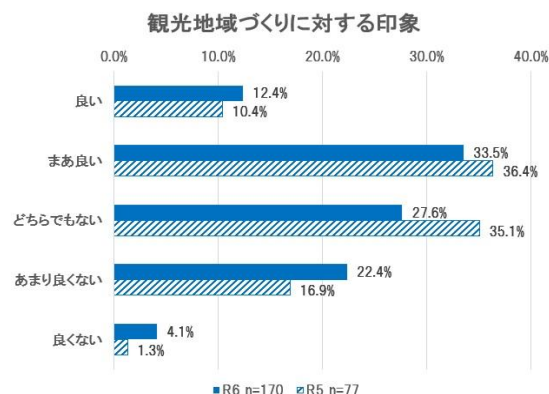


(4) 東紀州地域の観光地域づくりについての印象

- ・「良い」「どちらかといえば良い」の回答は45.9%で、昨年度とほぼ同じであるが、「良くない」「あまり良くない」の回答が26.5%で、8.3ポイント増加した。〈図表9〉
- ・市町別では、居住地が尾鷲市の方の「良い」「どちらかといえば良い」との回答が昨年度30.8%に対して今年度は41.3%と大きく増加している。〈図表10〉
- ・「仕事の一環で接する機会がある」「生活の中で接する機会がある」方は、「接する機会はほとんどない」方に比べて「良い」「どちらかといえば良い」と回答した割合が高い。〈図表11〉

観光地域づくりに対する印象【SA】 〈図表9〉

	R6	割合	R5	割合	R5からの増減
全体	170	100.0%	77	100.0%	-
良い	21	12.4%	8	10.4%	2.0
まあ良い	57	33.5%	28	36.4%	-2.8
どちらでもない	47	27.6%	27	35.1%	-7.4
あまり良くない	38	22.4%	13	16.9%	5.5
良くない	7	4.1%	1	1.3%	2.8



観光地域づくりに対する印象【SA】 × 居住地【SA】

会【SA】

〈図表10〉

			観光地域づくりに対する印象					
			全体	良い	どちらか といえば 良い	どちら でもない	あまり 良くない	良くない
居住地	令和6年度	全体	170	21	57	47	38	7
			100.0%	12.4%	33.5%	27.6%	22.4%	4.1%
		紀北町	26	3	10	7	5	1
			100.0%	11.5%	38.5%	26.9%	19.2%	3.8%
		尾鷲市	46	8	11	10	14	3
			100.0%	17.4%	23.9%	21.7%	30.4%	6.5%
		熊野市	67	9	25	17	14	2
			100.0%	13.4%	37.3%	25.4%	20.9%	3.0%
	令和5年度	御浜町	15	-	7	4	3	1
			100.0%	-	46.7%	26.7%	20.0%	6.7%
		紀宝町	16	1	4	9	2	0
			100.0%	6.3%	25.0%	56.3%	12.5%	0.0%
		全体	77	8	28	27	13	1
			100.0%	10.4%	36.4%	35.1%	16.9%	1.3%
		紀北町	9	3	2	1	3	-
			100.0%	33.3%	22.2%	11.1%	33.3%	-
		尾鷲市	26	-	8	10	7	1
			100.0%	-	30.8%	38.5%	26.9%	3.8%
		熊野市	23	3	9	10	1	-
			100.0%	13.0%	39.1%	43.5%	4.3%	-
		御浜町	9	1	6	1	1	-
			100.0%	11.1%	66.7%	11.1%	11.1%	-
		紀宝町	10	1	3	5	1	-
			100.0%	10.0%	30.0%	50.0%	10.0%	-

観光地域づくりに対する印象【SA】 × 観光客と接する機会【SA】

〈図表11〉

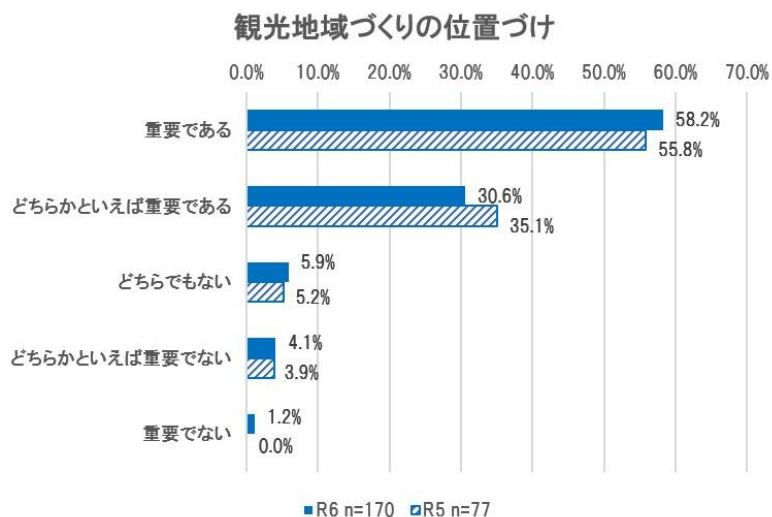
			観光地域づくりに対する印象					
			全体	良い	どちらか といえば 良い	どちら でも ない	あまり 良くない	良くない
観光客と接する機会	令和6年度	全体	170	21	57	47	38	7
			100.0%	12.4%	33.5%	27.6%	22.4%	4.1%
		仕事の一環で接する機会がある	38	6	15	11	5	1
			100.0%	15.8%	39.5%	28.9%	13.2%	2.6%
		生活の中で接する機会がある	37	5	13	9	10	-
			100.0%	13.5%	35.1%	24.3%	27.0%	-
	令和5年度	接する機会はほとんどない	95	10	29	27	23	6
			100.0%	10.5%	30.5%	28.4%	24.2%	6.3%
		全体	77	8	28	27	13	1
			100.0%	10.4%	36.4%	35.1%	16.9%	1.3%
		仕事の一環で接する機会がある	27	4	11	7	5	-
			100.0%	14.8%	40.7%	25.9%	18.5%	-
		生活の中で接する機会がある	14	2	5	3	4	-
			100.0%	14.3%	35.7%	21.4%	28.6%	-
		接する機会はほとんどない	36	2	12	17	4	1
			100.0%	5.6%	33.3%	47.2%	11.1%	2.8%

(5) 東紀州地域にとって観光地域づくりはどのような位置づけか

- ・全体として「重要である」「どちらかといえば重要である」の回答が88.8%であり、「どちらかといえば重要でない」「重要でない」の回答は5.3%と少ないことから、昨年同様に観光地域づくりが地域にとって重要な役割を果たすと考えられる方が多いことが分かる。(図表12)

観光地域づくりの位置づけ【SA】 (図表12)

	R6	割合	R5	割合	R5からの増減
全体	170	100.0%	77	100.0%	-
重要である	99	58.2%	43	55.8%	2.4
どちらかといえば重要である	52	30.6%	27	35.1%	-4.5
どちらでもない	10	5.9%	4	5.2%	0.7
どちらかといえば重要でない	7	4.1%	3	3.9%	0.2
重要でない	2	1.2%	-	-	1.2



観光地域づくりの位置づけ【SA】×観光客と接する機会【SA】 (図表13)

			観光地域づくりの位置づけ					
			全体	重要である	どちらかといえば重要である	どちらでもない	どちらかといえば重要でない	重要でない
観光客と接する機会	令和6年度	全体	170	99	52	10	7	2
			100.0%	58.2%	30.6%	5.9%	4.1%	1.2%
		仕事の一環で接する機会がある	38	22	12	1	3	-
			100.0%	57.9%	31.6%	2.6%	7.9%	-
		生活の中で接する機会がある	37	23	8	4	1	1
			100.0%	62.2%	21.6%	10.8%	2.7%	2.7%
	令和5年度	接する機会はほとんどない	95	54	32	5	3	1
			100.0%	56.8%	33.7%	5.3%	3.2%	1.1%
		全体	77	43	27	4	3	-
			100.0%	55.8%	35.1%	5.2%	3.9%	-
		仕事の一環で接する機会がある	27	19	6	2	-	-
			100.0%	70.4%	22.2%	7.4%	-	-
		生活の中で接する機会がある	14	5	8	-	1	-
			100.0%	35.7%	57.1%	-	7.1%	-
		接する機会はほとんどない	36	19	13	2	2	-
			100.0%	52.8%	36.1%	5.6%	5.6%	-

(6) あなたは観光地域づくりについて関わりたいか

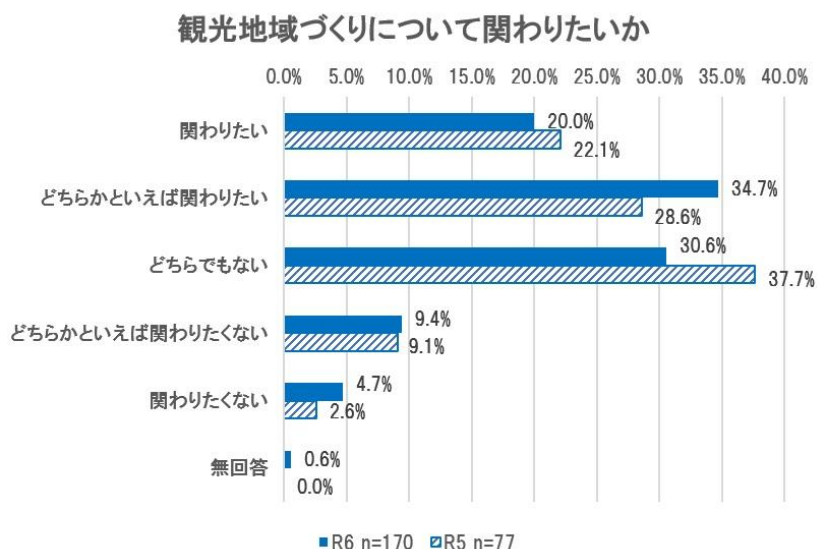
・「関わりたい」「どちらかといえば関わりたい」との回答は54.7%で、昨年度に比べ4.0ポイント増加した。〈図表14〉

・観光客と接する機会別では、「仕事の一環で接する機会がある」「生活の中で接する機会がある」方は、「接する機会はほとんどない」方に比べて「関わりたい」と回答した割合が高い。

〈図表15〉

観光地域づくりについて関わりたいか【SA】 〈図表14〉

	R6	割合	R5	割合	R5からの増減
全体	170	100.0%	77	100.0%	-
関わりたい	34	20.0%	17	22.1%	-2.1
どちらかといえば関わりたい	59	34.7%	22	28.6%	6.1
どちらでもない	52	30.6%	29	37.7%	-7.1
どちらかといえば関わりたくない	16	9.4%	7	9.1%	0.3
関わりたくない	8	4.7%	2	2.6%	1.2
無回答	1	0.6%	-	-	0.6



観光地域づくりについて関わりたいか【SA】 × 観光客と接する機会【SA】 〈図表15〉

			観光地域づくりについて関わりたいか						
			全体	関わりたい	どちらかといえば関わりたい	どちらでもない	どちらかといえば関わりたくない	関わりたくない	無回答
観光客と接する機会	令和6年度	全体	170	34	59	52	16	8	1
			100.0%	20.0%	34.7%	30.6%	9.4%	4.7%	0.6%
		仕事の一環で接する機会がある	38	13	13	8	2	2	-
			100.0%	34.2%	34.2%	21.1%	5.3%	5.3%	-
		生活の中で接する機会がある	37	15	10	9	2	-	-
			100.0%	40.5%	27.0%	24.3%	5.4%	-	-
	令和5年度	接する機会はほとんどない	95	6	36	35	12	5	1
			100.0%	6.3%	37.9%	36.8%	12.6%	5.3%	1.1%
		全体	77	17	22	29	7	2	-
			100.0%	22.1%	28.6%	37.7%	9.1%	2.6%	-
		仕事の一環で接する機会がある	27	11	8	4	4	-	-
			100.0%	40.7%	29.6%	14.8%	14.8%	-	-
	令和5年度	生活の中で接する機会がある	14	3	3	6	2	-	-
			100.0%	21.4%	21.4%	42.9%	14.3%	-	-
		接する機会はほとんどない	36	3	11	19	1	2	-
			100.0%	8.3%	30.6%	52.8%	2.8%	5.6%	-

（７）東紀州地域の観光地域づくりに対して、今後の効果・課題

- ・観光地域づくりに対しての今後の効果課題については、ポジティブな回答が 415 件に対して、ネガティブな回答が 91 件であった。
- ・ポジティブな回答では「観光客による消費により、地域が豊かになる」との回答が多く、ネガティブな回答では「ゴミの投棄等により自然や景観が破壊される」との回答が多く、昨年度と同様の傾向が見られる。〈図表 16〉

観光地域づくりに対して、今後の効果・課題【LA：3つまで】〈図表 16〉

		令和6年度		令和5年度	
観光地域づくりに対して、今後の効果・課題	全体	170	100.0%	77	100.0%
	飲食店や土産物店などが増える	58	34.1%	25	32.5%
	地域の観光以外の産業が盛んになる	44	25.9%	14	18.2%
	雇用の増加につながる	63	37.1%	35	45.5%
	観光客による消費により、地域が豊かになる	106	62.4%	48	62.3%
	歴史的・文化的資源の保存・継承につながる	60	35.3%	27	35.1%
	東紀州地域のイメージアップにつながる	55	32.4%	33	42.9%
	自然環境・景観の保全が推進され環境が良くなる	29	17.1%	15	19.5%
	騒音や交通渋滞などにより、生活環境が悪化する	22	12.9%	7	9.1%
	ゴミの投棄等により自然や景観が破壊される	37	21.8%	18	23.4%
	一部の観光客による治安の悪化が心配される	32	18.8%	9	11.7%
	その他	45	26.5%	3	3.9%

観光客と接する機会【SA】×観光地域づくりに対して、今後の効果・課題【LA：3つまで】〈図表 17〉

		観光客と接する機会			
		全体	仕事の場で接する機会がある	生活の中で接する機会がある	接する機会はほとんどない
令和6年度	全体	170	38	37	95
		100.0%	22.4%	21.8%	55.9%
	飲食店や土産物店などが増える	58	13	9	36
		100.0%	22.4%	15.5%	62.1%
	地域の観光以外の産業が盛んになる	44	11	10	23
		100.0%	25.0%	22.7%	52.3%
	雇用の増加につながる	63	12	13	38
		100.0%	19.0%	20.6%	60.3%
	観光客による消費により、地域が豊かになる	106	25	21	60
		100.0%	23.6%	19.8%	56.6%
	歴史的・文化的資源の保存・継承につながる	60	13	13	34
		100.0%	21.7%	21.7%	56.7%
	東紀州地域のイメージアップにつながる	55	13	17	25
		100.0%	23.6%	30.9%	45.5%
	自然環境・景観の保全が推進され環境が良くなる	29	4	8	17
令和5年度	全体	77	27	14	36
		100.0%	35.1%	18.2%	46.8%
	飲食店や土産物店などが増える	25	8	6	11
		100.0%	32.0%	24.0%	44.0%
	地域の観光以外の産業が盛んになる	14	5	3	6
		100.0%	35.7%	21.4%	42.9%
	雇用の増加につながる	35	15	6	14
		100.0%	42.9%	17.1%	40.0%
	観光客による消費により、地域が豊かになる	48	16	8	24
		100.0%	33.3%	16.7%	50.0%
	歴史的・文化的資源の保存・継承につながる	27	9	5	13
		100.0%	33.3%	18.5%	48.1%
	東紀州地域のイメージアップにつながる	33	10	4	19
		100.0%	30.3%	12.1%	57.6%
	自然環境・景観の保全が推進され環境が良くなる	15	2	1	12
		100.0%	13.3%	6.7%	80.0%
	騒音や交通渋滞などにより、生活環境が悪化する	7	2	1	4
		100.0%	28.6%	14.3%	57.1%
	ゴミの投棄等により自然や景観が破壊される	18	5	6	7
		100.0%	27.8%	33.3%	38.9%
	一部の観光客による治安の悪化が心配される	9	2	2	5
		100.0%	22.2%	22.2%	55.6%
	その他	3	2	-	1
		100.0%	66.7%	-	33.3%

(8) 東紀州地域の観光地域づくりに対する意見（自由記述、抜粋）

【紀北町】

東紀州地域は魅力的な観光地であると思うか。	あなたは観光地域づくりについて関わりたいと思いますか。	東紀州地域の観光地域づくりに対するご意見がありましたらご自由にお書きください。
やや思う	どちらかといえば関わりたい	ショッピング施設、娯楽施設が全くと言っていいほどないので、結局観光に来てもその場でお金を落としていこうとはなっていないと思う。また、地元住民目線でもこういった施設がないので他所に出て行く原因につながっている。
やや思う	関わりたい	観光に関わる人材間のネットワーク構築、人材育成が急務
そう思う	関わりたい	観光資源はあるのに上手く活用できていない印象がある。地域の資源を観光客のニーズに合わせて設計することが必要なのではないかな？東紀州で連携してグランドデザインを描き、設計やコーディネート人材を確保または育成し、地域住民も巻き込みながら楽しみながら観光地域づくりができればいいのと思う。

【尾鷲市】

東紀州地域は魅力的な観光地であると思うか。	あなたは観光地域づくりについて関わりたいと思いますか。	東紀州地域の観光地域づくりに対するご意見がありましたらご自由にお書きください。
やや思う	どちらかといえば関わりたい	ここに来たいと思わせる魅力づくりが重要、これに関連して働く場所(生活資金を得る場所)を作ることによる定住促進が必要
そう思う	どちらでもない	サイクリングに関する新聞記事を最近目にするので、引き続き頑張ってください。
やや思う	どちらかといえば関わりたい	みんなでPRしていきましょう
やや思う	どちらかといえば関わりたい	過疎高齢化がひどくなる一方ですし、観光での雇用は限界があるので、若い人が観光で移住しやすく起業しやすい取り組みが必要だと思います。
そう思う	関わりたい	持続的な観光地域づくりには、地域住民の理解が必要不可欠であると思います。そのためには、単に観光客の入り込み客数を増やすことだけを考えるのではなく、そのことによる影響とその対策も同時並行的に考えていくことが大切であると思います。地域住民、行政、企業など地域が一体となった取り組みを進めて下さい。
やや思う	どちらかといえば関わりたい	地元の人もこの地域に魅力を感じる取り組みも大事だと思います。
やや思う	どちらでもない	銚子川や三木里海岸のゴミ放置や交通問題を考える必要あり
どちらでもない	どちらでもない	尾鷲市在住のため、尾鷲市についてしか書けませんが、尾鷲市は特に宿泊施設が少ないです。観光客をもっと誘致するのなら、その辺りを改善する必要があるかと思っています。熊野市はくまのくらぶやホテルなみがあり、団体客も宿泊できますが、尾鷲市にはありません。また、交通の便が悪いです。JRやバスの本数も少なく、尾鷲駅周辺には駐車場もないしレンタカーもありません。和歌山県の中辺路周辺では外国人観光客ばかりでとても驚きます。この地域も同じ熊野古道という世界遺産があるので、インバウンドを呼び込める可能性を秘めているのではと思います。中辺路を歩いて他の熊野古道を歩こうと思っている外国人にもっとアピールできればいいのではと思います。

【熊野市】

東紀州地域は魅力的な観光地であると思うか。	あなたは観光地域づくりに関わりたいと思いますか。	東紀州地域の観光地域づくりに対するご意見がありましたらご自由にお書きください。
そう思う	どちらでもない	ミカンや干物など、熊野古道など、たくさんの良い物があるのに、外部への売り方がイマイチと感ずることがあります。お土産のお菓子1つにしても、パッケージデザインをオシャレにしたり、上手に見せたらもっと色んな世代の人に興味をもってもらえるのではないかと思います。
そう思う	関わりたい	もっと、民間を巻き込み稼げる観光地にするべき。
やや思う	どちらかといえば関わりたい	何においても物事を進める人材の教育と確保が必要ではないでしょうか？
あまり思わない	どちらかといえば関わりたい	観光客だけでなく、お店や施設の接客態度、サービスが悪い。接客マナーを1から教育し直さないと、観光して良かったとはならない。
あまり思わない	どちらかといえば関わりたい	観光地域作りをしているのか疑問です
そう思う	どちらでもない	七里御浜は素晴らしい景観をもたらしてくれていると思うが、観光資源として活かされていないので、もったいないと思います。
そう思う	どちらかといえば関わりたい	中高校生に地元の観光を体験して貰い若い視点の意見を集めるのと平行して定年後世代の観光体験も企画して広く意見をいただき、改善を直ぐに始める他地域の後追いではなくマネでなく予算ありきの話ではなく直ぐに始める事が大事です 学校行事に使っていただき定着するような仕組み、シニア世代の観光の目的、ニーズを集める努力を願います
やや思う	どちらかといえば関わりたい	東紀州地域は自然豊かだし世界遺産もあるため、外国人や都会に住んでいる人向けの観光地に適していると思います。しかし観光客が増えると同時に不法投棄なども増え、環境破壊につながりかねません。実際、新鹿～遊木あたりの道にはゴミが多く捨てられています。そのような問題を解決することも重要になってくると思います。例えばゴミ箱を多く設置するとか……。観光地として開発していくことは賛成です。
そう思う	どちらかといえば関わりたい	風光明媚、新鮮な農・海産物など地域ポテンシャルとしては、非常に魅力ある地域と感じているが、他地域でどれだけ周知かなされているのか良く分からない。 また、他地域の知人に来て欲しい旨を伝えた時、「遠いから。」と言われる事が多いように感じる。 現在では高速道路も延伸し、かなり便利になったと思うが、この点についても周知が足りないように思う。 周知が進めば都市部から程よく離れているため、宿泊客等これまで以上に見込めるのではないかと。

【御浜町】

東紀州地域は魅力的な観光地であると思うか。	あなたは観光地域づくりに関わりたいと思いますか。	東紀州地域の観光地域づくりに対するご意見がありましたらご自由にお書きください。
そう思う	どちらかといえば関わりたくない	各市町村で、やるのでなく、全体で考えてほしい。
そう思う	関わりたい	観光を押していくならば景観を守らなければならない。ここに来る観光客が何を求めているか 熊野古道や熊野の山奥の大自然。 それが、ソーラーパネルの増加で、景観が破壊されていっている。 観光客が求めているものは 何もない田舎の風景。今もとめられているものでは無いでしょうか？ どうか、市町村が進んで取りやめてほしいものです。 ソーラーパネルを設置すると会社から市にお金が入るそうですが、 “田舎”をワードにした、観光を目指した方が 自然が守られ、集客、収益につながります。 どうか、目先のお金に捉われず、 先を見据えた観光地域作り。をしていってほしい、想います。
そう思う	どちらでもない	御浜町においても観光振興をしていると思いますが、有名な観光名所のある熊野市や新宮市に挟まれた地域にとっては、同じような感覚で観光を振興しても仕方なく、実際に実績も薄いはずで。御浜町においては今そこに力を注いでいる場合ではなく、もっと農業の問題に注視すべきだと思います。ただ、もっと別方向で、オーガニックに特化した街づくりなどで、観光や移住を促すのはいいと思います。
そう思う	関わりたい	町長や議員などをはじめ地域全体が積極的に好意的に観光に意識を向けられるといいです。
そう思う	どちらかといえば関わりたい	登山やキャンプ、トレイルランなどの流行もあるので、熊野古道やサイケリングロードの整備はよいと思います。

【紀宝町】

東紀州地域は魅力的な観光地であると思うか。	あなたは観光地域づくりに関わりたいと思いますか。	東紀州地域の観光地域づくりに対するご意見がありましたらご自由にお書きください。
そう思う	関わりたい	お隣の和歌山県や奈良県ともっと連携していけるといいと思います。
そう思う	関わりたい	観光資源はたくさんあると思います。コアな熊野のファンもいると思います。しかし、観光をメインにした事業を活性化させる自治体の自力がないことが原因で進まないのだと考えます。 お金が無いのだからしょうがないのですが、もったいないといつも思っています。
そう思う	どちらでもない	県外から東紀州地域への旅行は日帰りでは難しいので、宿泊する必要があるが、地域内に宿泊施設がないため、伊勢や勝浦に客を取られてしまう。難しいとは思いますが、宿泊施設の充実に向けた取組を期待したい。
そう思う	関わりたい	世界遺産の巡礼道が通っている地域として、他地域との差別化を図りながら、外部の人との交流を図ることで地域の魅力を発信し、活性化を図るべき。
やや思う	どちらかといえば関わりたい	地元にいると「当たり前」と思っていることが、観光客にとってはすごく魅力のあることだったりするので、地元の人もそれを知ること大事なのかなと思います。

3 設問別調査結果

1) 性別【SA】

	R6	割合
全体	170	100.0%
男性	99	58.2%
女性	66	38.8%
その他	4	2.4%
無回答	1	0.6%

2) 年齢【SA】

	R6	割合
全体	170	100.0%
20歳未満	0	0.0%
20歳代	31	18.2%
30歳代	31	18.2%
40歳代	25	14.7%
50歳代	51	30.0%
60歳代	24	14.1%
70歳以上	8	4.7%
無回答	0	0.0%

3) お住まい【SA】

	R6	割合
全体	170	100.0%
紀北町	26	15.3%
尾鷲市	46	27.1%
熊野市	67	39.4%
御浜町	15	8.8%
紀宝町	16	9.4%

4) 東紀州地域は魅力的な観光地であると思いますか。【SA】

	R6	割合
全体	170	100.0%
そう思う	65	38.2%
やや思う	73	42.9%
どちらでもない	12	7.1%
あまり思わない	16	9.4%
思わない	4	2.4%

5) 東紀州地域を訪れる観光客と接する機会がありますか（ありましたか）。【SA】

	R6	割合
全体	170	100.0%
仕事の一環で接する機会がある	38	22.4%
生活の中で接する機会がある(イベント、観光施設、道案内など)	37	21.8%
接する機会はほとんどない	95	55.9%
その他	0	0.0%

6) 東紀州地域を訪れている観光客(国内外それぞれ)に対して、どのような印象を持っていますか。
[日本人観光客] 【SA】

	R6	割合
全体	170	100.0%
良い	54	31.8%
まあ良い	60	35.3%
どちらでもない	48	28.2%
あまり良くない	8	4.7%
良くない	0	0.0%

7) 東紀州地域を訪れている観光客(国内外それぞれ)に対して、どのような印象を持っていますか。
[外国人観光客] 【SA】

	R6	割合
全体	170	100.0%
良い	49	28.8%
まあ良い	54	31.8%
どちらでもない	58	34.1%
あまり良くない	5	2.9%
良くない	2	1.2%

8) 東紀州地域の観光地域づくりについて、あなたはどのような印象を持っていますか。【SA】

	R6	割合
全体	170	100.0%
良い	21	12.4%
どちらかといえば良い	57	33.5%
どちらでもない	47	27.6%
あまり良くない	38	22.4%
良くない	7	4.1%

9) 東紀州地域にとって観光地域づくりはどのような位置づけにあると思いますか。【SA】

	R6	割合
全体	170	100.0%
重要である	99	58.2%
どちらかといえば重要である	52	30.6%
どちらでもない	10	5.9%
どちらかといえば重要でない	7	4.1%
重要でない	2	1.2%

10) あなたは観光地域づくりについて関わりたいと思いますか。【SA】

	R6	割合
全体	170	100.0%
関わりたい	34	20.0%
どちらかといえば関わりたい	59	34.7%
どちらでもない	52	30.6%
どちらかといえば関わりたくない	16	9.4%
関わりたくない	8	4.7%
無回答	1	0.6%

- 1 1) 東紀州地域の観光地域づくりを進めていくことで、今後どのような効果・課題があると思いますか。【LA】

	R6	比率
全体	170	100.0%
飲食店や土産物店などが増える	58	34.1%
地域の観光以外の産業が盛んになる	44	25.9%
雇用の増加につながる	63	37.1%
観光客による消費により、地域が豊かになる	106	62.4%
歴史的・文化的資源の保存・継承につながる	60	35.3%
東紀州地域のイメージアップにつながる	55	32.4%
自然環境・景観の保全が推進され環境が良くなる	29	17.1%
騒音や交通渋滞などにより、生活環境が悪化する	22	12.9%
ゴミの投棄等により自然や景観が破壊される	37	21.8%
一部の観光客による治安の悪化が心配される	32	18.8%
その他	45	26.5%
無回答	0	0.0%